

KAMI RAKUGO

09,12-10,1

A QUARTERLY
MAGAZINE
2009 No.12

FREE

【特集】インタビュー

露の都
桂あやめ

(池田市立上方落語資料展示館)
池田・落語みゅーじあむ

かみ落語

持三枝

世に平成のみだれ髪

ああ、麗しの女流落語家



【TOPICS】好評展開中！落語みゅーじあむ 出前寄席

ああ、麗しの

～世に平成のみだれ髪～

女流落語家

上方落語協会の女性落語家、総勢10名(2009年11月現在)。
その中心的存在であり、上方笑女隊としても活躍する露の都、
桂あやめ両師に、女流落語の魅力をたっぷりとお伺いしました。

上方女性落語の今

女性落語家は、私になる時はだれも居なかったんですよ。それが今では10名ですよ。私のところの一門もね、今、男女が6人ずつになったんですよ。私は、これってけっこうすごいよなって思うんですよ。三枝師匠が上方落語協会に女子部というのを作ってくれたのも、うれいんですよ。あやめちゃん達と一緒に上方笑女隊で頑張ってるんですけどね、楽屋なんかメッチャうるさいですよ。私みたいなのはびっくりですから。静かな時間はいいじゃない。(趣味で、落語をする女性も増えていきますね?)プロで活躍している人が東西で出てきたというの、大きいかなと思います。私のしている落語教室の生徒さんも、女性が増えてきてますしね。めっちゃ若い人と私より年配の方がとくに多いように思います。80歳くらいの人もいますけど、けっこうしっかりしゃべりますよ。落語ってやっぱり人生観が出るでしょ。年齢を重ねると味が

出てくるのが、すごくいいですねえ。お芝居は一人ではできないけど、落語は全部自分でできる、そういう快感があるんじゃないでしょうか。

麗しの少女時代

昔から仁鶴師匠が大好きで、高校生の時は、落語を憶えて教室の教壇の上に座ってやりました。色んな教科の先生にやれやれ言われて、何回もやらされてね。クラスメイトは何回も聴いてるのに笑ってくれるんですよ。

で、ある日、ふっと落語家になろうと思ったんですけど、なり方がわからない。そんな時に素人名人会を見て、米朝師匠が審査員だったのでこの人と知り合いになって落語の世界に入ろうと。だから、師匠を自分で選べるということすら知らなかったんですよ。

ただその時は、たまたま米朝師匠がお休みで、うちの師匠(露の五郎兵衛)が審査員だったんです。それがかっかけて、うちの師匠に入門したんですよ。



露の都
Miyako Tuiyuno

(最初は大変だったのでは?)
全然!自分で言うのもなんですが、機転がよくきいたので。

なんば花月、梅田花月をよくのぞいて、弟子の人が着物たたんでんの見て覚えるんです。すると、やったことなくてもチャッチャと出来るんですよ。あの師匠の履物はこれやなとサツと出したり、コートを取ったりね。「この子さうできるで」となって、もうひとり男の二がおったんですよ。師匠は私をとってくれました。

それよりも内弟子やったからとにかく当時は眠たかった。よう車で師匠にもたれかかって、「お前、誰にもたれてんねん!」って怒られました。

自分らしく輝くために

「女性が落語するの難しいでしょ」ってよく聞かれるんですけど、私は、女やからどうとかあまり考えないんです。落語は男の人が作ってきたものでしょ。だから、女はこんなこと言わないことがいっぱいあるんですよ。そういった部分を、あくまでも

自分の感性で伝えられたらいいなと。うちの師匠の落語、米朝師匠の落語、春園治師匠の落語、おんなじネタやってもみんな違うじゃないですか。自分らしさをいかに出すかということですよ。

確かに古典落語は、女性には難しいかもしれへんけど、自分自身これまで長くやってきてわかってきたこともありまして、長く続けたいとわかっていことってあるじゃないですか。今こうして楽しいのも、辞めなくてよかったなと思いますね。芸は自分でしか磨けないものなので、心がやっぱり大切ですよ。あと、女も40、50過ぎてきたらあんまり恐いもんないからね、ガッツ生きていけるじゃないですか。

来年は繁昌亭で、露の都の一門会をやるのかなと企画しています。「大奥落語会」というのをね。落語もさらにパワーアップしてドンドン新しいネタをやっていくと。来年からはやりませうよ!!

プロとして女性として

27年ほど前、私が入門する時にも女性で落語を楽しんでいる人はけっこういたんです。でもプロになったとたん、なんでこんなにおれへんねやろってのが不思議で。だつたらまずプロになろうと、落語を始めたく思っただけです。

でも当時は女の芸人自体が少なかったし、なんか女の子を笑つたらかわいそうやとか、そういう固定観念がすごくあったんです。せやから私が女のボケ役をやってもお客さんは笑えない。で、どうしたらその溝を埋められるかって考えてたら、もう女の恰好してるのが邪魔やいうので、髪ショートにして、丁稚みたいな恰好で落語をしたり。その後を試したのが、登場人物を女にしよう。喜六、清八をキーコさんセーコさんにして、時うどんを女同士でうどん食べるようにしよかと。でも男の人の垂流というか、やっぱり駄目なんですよね。いろいろやって失敗して目の前には宝の山が積まれてるのに、どれやってもおもしろくない。そーやって悩んでいた時期に、三枝さんの創作落語の予備軍として、若手の新作の会が心斎橋の宗衛門町であったんです。それに出えへんかって誘われて、あつ、そうか自分で作つたらええんかって。

落語は、等身大の自分

師匠は、なにをせえではなくて、オリジナリティを作るといふことを大事に思っている人で、「おまえは、おまえの斬作つたらええんや」って。で一度、師匠の前で自分の新作やっただけです。ちよつとまだ自信ないし、師匠の前で場を汚すみたいで申し訳ないと思っただけです。たまたま楽屋で見つけた師匠が「この斬はおまえにしかでけへんや」って。それは私にとってすごい誉め言葉でした。

（あやめという名前は文枝師匠の前座名ですね？）師匠と大師匠が名乗ったということもあつて、ずっと憧れてた名前、素人時代、勝手にあやめ言う名前が落語やっただけです。この世界に入って「どんな名前がええんや」と聞かれた時に、あやめです言つたら、「あれはもひとつええ名前やない」とか「字画が悪いんや」で、花枝という名前になったんです。でも憧れがずっとあつたんで、よう兄弟子らと飲んだ時とかに言つてたんです。ほな、ある飲み

会の時に「こいつ、あやめ欲しいらしいですよ」って言われて。ちよつとその時、入門10年目で、師匠が「10年続いたんか、ほなやろか」って。ほな「あの名前、実は字画は悪くないんや」って、えー悪い言つたやんって。

本来、落語家にとつてはそれほど大きな名前ではないんですけど、自分が死んで100年後に、あやめという女の落語家がいる、女性の大きな名前として残っていけたら、継がしてもちろた大きな意味があるかなという気がして。そういう流れの中にいることがすくうれしいんです。だから系図とか見てたら「ニマー」としてりして。

新しい発見だらけ！

女性落語家は、今でやると二桁で、でも、もつと色

んな人がやってみないとわからないですよ。この前、池田の大会、65歳くらいの女性がした延陽伯がすごくおもしろかったんです。昔の大阪弁をすごくきれいに話せる方で、そういう意味では、船場で生まれ育つたような子が落語家になつたら、もつときれいな口調の女落語家が生まれるやろし、アイドルみたいな子が上下むちゃくちゃでもおもしろいとか、そんなも出てきてもええと思っんです。もつと大勢出てきたら、多分まだ気づいてない女性のやり方でもつと見えてくる気もするし。私達は今、自分たちができることを試行錯誤でやってくるくらいですから、ほんとに発展途上の世界なんです。こうなつたら成功っていうのがないからだからこそおもしろいって、いうのはありますね。



桂あやめ

Ayame Katsumi



好評につき“出前”増量中！

オープン以来、大好評の出前寄席。写真は、11月1日(日)に行われた大阪青山大学の大学祭、『箕池寄席』の様です。落語みゅーじあむの受講生4名、持てる力で精一杯、会場を笑かして参りました。



落語みゅーじあむ

DEMAE YOSEI

出前寄席

個性豊かなアマチュア落語家が“笑”いをお届けにまいります！自前の落語会を開催して、私達と一緒に落語を楽しみませんか？手作りの高座、大歓迎！何でも気軽にご相談下さい。

お問合せ先 落語みゅーじあむ

TEL 072-753-4440
FAX 072-753-4447



大人だって欲しくなる!?
子ども専用
新パンフレット配布中!

ご来館のお子様に、もっと落語みゅーじあむを楽しんでもらえるよう、イラストや写真満載のパンフレットが新しく登場しました!



※もちろん大人の方もお楽しみいただけます。お気軽にスタッフへお声がけ下さい。



除夜の雪
大海日の寒しい夜。除夜の鐘突きをしている坊主達にお客さんがやってきて・・・桂米朝の名作。

蛭売り
雪のちらつく夜にかご一杯の蛭を売って歩く男の子。それを見た親方とのしみじみとした人情噺。

冬落語
笑ってココロもぼっかぼか

正月丁稚
ある商家のお正月。正月祝いの準備をする丁稚の定吉が巻き起こすどたばた噺。

初天神
初天神に出掛けた親子。あれこれ買ってもらおうと、悪知恵を働かせる子供に、お父さんもタジタジ・・・

睦月

【休館日】 5日(火)
1月9日(土) 10時~12時
第2期アマチュア落語講座(中級)

1月9日(土) 14時~
第38回落語みゅーじあむ寄席

桂 さろめ「平林」
笑福亭 鶴笑「親子酒」
桂 あやめ「コンバ大作戦」

【休館日】 12日(火)
1月16日(土) 10時~12時
第1期アマチュア落語講座(中の上級)

【休館日】 19日(火)
1月23日(土) 10時~12時
第3期アマチュア落語講座(初級)

【休館日】 26日(火)

師走

【休館日】 1日(火)
12月5日(土) 10時~12時
第2期アマチュア落語講座(中級)

【休館日】 8日(火)
12月12日(土) 10時~12時
第3期アマチュア落語講座(初級)

12月12日(土) 14時~
第37回落語みゅーじあむ寄席

森乃 石松「饅頭こわい」
桂 三 若「紙入れ」
笑福亭 仁智「源太と兄貴-純情編-」

【休館日】 15日(火)
12月19日(土) 10時~12時
第1期アマチュア落語講座(中の上級)

【休館日】 22日(火)

~年末年始休館日のお知らせ~
09年29日(火)~10年1月3日(日) まで
年末年始のお休みをいただきます。

Event Schedule
[2009.12-2010.1]



〒563-0058 大阪府池田市栄本町7-3
電話：072-753-4440 FAX:072-753-4447

開館時間：11時~19時
休館日：火曜日、年末年始
※火曜祝日の場合、翌日休館
入館料：無料
(落語会などは木戸銭が必要です)
※専用駐車場はございません。
最寄駅：阪急電車宝塚線「池田駅」下車
(阪急梅田駅から急行で約20分)
改札を出て栄町方面へ徒歩約7分

《協力》  上方落語協会

